

歴史資料グループだより

第 2 号

平成 27 年 3 月に終了した八戸市史編纂室の仕事を引き継いだ歴史資料グループの業務を紹介します。

平成 29 年度の主な事業

●『八戸藩遠山家日記 第六巻』刊行

『遠山家日記 第六巻』には、弘化 4 年（1847）6 月 11 日から嘉永 5 年（1852）大晦日までの 6 年間の日記を翻刻して収録しています。

遠山家 8 代当主庄太夫の嘉永元年（1848）元旦から 4 月 10 日までの江戸勤番の様子や、八戸藩の役職の任命、行事等の公的な記録、藩士同士の本の貸し借りや、家族の出産等、当時の八戸藩士の暮らしぶりを知ることができます。

税込み価格 2,570 円で市内各書店および図書館にて発売中です。



●『新編八戸市史 通史編Ⅱ 近世』増刷

平成 25 年に発刊した『新編八戸市史 通史編Ⅱ 近世』を加筆・修正した第二版です。

八戸藩の誕生から明治の廃藩置県までを時系列でたどる第一編と、藩内の産業や経済、文化などを分野別にとりあげた第二編からなり、調べたい出来事や事柄へたどり着きやすい内容になっています。



税込み価格 3,080 円で、『通史編Ⅰ 原始・古代・中世』『通史編Ⅲ 近現代』と併せて、市内各書店および図書館・博物館・八戸ブックセンターにて発売中です。

●平成 29 年度八戸市史講座の開催

今年度の八戸市史講座は、昨年度に引き続き市内各所を散策する「ふるさとてくてく旅」を 4 回、『通史編Ⅱ』の増刷を記念して近世の八戸藩をテーマにした講座を 4 回、計 8 回開催しました。

「てくてく旅」では、旧湊村、小中野村、八戸町、館村を講師の先生と一緒にめぐり、その地域の歴史や文化を学びました。講座では元禄期と幕末期の八戸の藩政、文芸、遠山家日記を扱いました。テーマに関連する古文書を展示した際には、皆さんが真剣な様子で見入っていました。

平成 30 年度は民俗をテーマに全 6 回の講座を開催する予定です。



●平成 29 年度古文書解読講習会の開催

今年度の古文書解読講習会（初心者対象）は、7月から9月にかけて計7回開催しました。今回は主に八戸藩目付所日記の宝暦三年（1753）の部分を教材に使用しました。

講習会の参加者全員が初参加でした。年齢層も幅広く、古文書への関心の高さがうかがえました。



●『八戸市立図書館収集文書目録 第1集』発刊

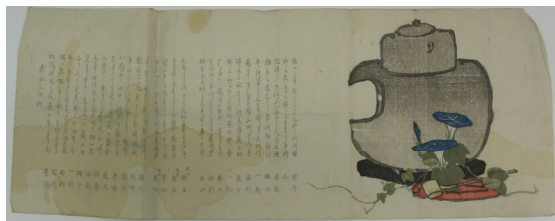
八戸市史編纂室で収集した資料目録『八戸市史収集文書目録』に引き続き、歴史資料グループで収集した資料目録『八戸市立図書館収集文書目録』の第1集を発刊しました。内容は、龜神社文書、安藤顯信家文書、志田貢氏収集資料、木幡家（内丸）文書、遠藤家（葛巻）文書、戸来家（新井田）文書、市川家（糠塚）文書、市澤家（おいらせ町）写真資料、山本敏夫氏収集資料、小中野公民館移管資料、八戸市立図書館収集資料の計11目録を収録しています。この目録は市内各図書館や博物館、県内の大学図書館、東北地方の県立図書館等で閲覧することができます。

●平成 29 年度寄贈資料

図書館では古文書や古い写真、絵葉書、地図など歴史資料の受入れを行っています。

今年度は山本敏夫氏より写真や地図等23点、遠藤保雅氏より書状や書籍等161点、沼館眞助氏よりアルバム1冊、市澤貢子氏より写真や絵葉書等69点、戸来元氏より和歌集や絵図等135点をご寄贈いただきました。

上記のご寄贈いただいた資料は、『八戸市立図書館収集文書目録 第1集』に収録しています。



●古文書点検

今年度は淵沢家文書や行政資料等、30文書、7,139点の点検作業を行いました。

各文書の内容や数量を確認すると共に、「八戸浦之図」や「道中雙六」等の絵図のサイズの測定や修復作業を行いました。

点検による目録の修正後、図書館ホームページの古文書検索システムに反映する予定です。



「道中雙六」(部分)

発行・編集 八戸市立図書館 歴史資料グループ

〒031-0022 八戸市大字糠塚字下道 2-1

TEL・FAX 0178-73-3234 e-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp